

ICT 教材・機器 活用事例

学部	中学部	学年・グループ	3年	教科	自立活動
授業名(単元名)		環境の把握			

①ICT を活用した個別最適な学び

活用場面	活用方法	子どもの様子(成果・課題等)
○自立活動	・視線入力装置とソフトを用いて一定時間、指定されたものを集中して見る活動を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム感覚で楽しそうに取り組むことができた。 ・視線ではなく、頭や首を動かしてしまうことがあり、指示した位置を注視できるまで時間がかかることもあった。 ・視線入力が上手くできた際は「できました。」と嬉しそうに教員に伝えることができた。

②実践を振り返って

【工夫した点】

・教員が見るべきポイントについて言葉かけをしたり、指差して示したりすることで、活動内容をわかりやすく伝えることができた。

【活用の成果】

- ・視線入力の回数を重ねることで本人が注視すべき点を捉え始める様子が見られた。
- ・本人が視線を向けている位置を視覚的に捉えることができた。

【今後に向けた課題】

・本人が「どのようにものを見ているのか」というアセスメントを継続する必要がある。また本人が取り組んだ視線入力の記録を残しながら様子を見守る。

